

II. 一般社団法人 日本工作機械工業会の活動

1. 概 要

(1) 定時総会

2022年5月27日(金)、東京都千代田区・ホテルニューオータニに於いて、で第11回定時総会を開催し、会員108社中104社（書面または代理人による議決の決議の行使を含む）が出席した。同総会では、稲葉会長が議長となり、2021年度収支決算、2022年度会費負担、補欠役員選任について審議を行い、原案通り決議された。また、2021年度事業報告、2022年度事業計画、同年度収支予算についても報告があった。

なお、2022年9月1日、第12回臨時総会が書面審議で行われ、補欠理事の選任について審議した。

(2) 理事会

当会の事業執行機関である理事会は、理事会運営の原則に基づき、5月に決算理事会、7月、9月、11月に定例理事会、3月に予算理事会を開催し、事業報告及び収支予算案、決算報告を始め、令和5年度税制改正要望、2023年度（公財）JKA補助事業要望等について審議した。

(3) 委員会・研究会

各事業の遂行については、総合企画、技術、経営、市場調査、国際、環境安全、見本市、輸出管理の8常設委員会及び人材確保・周知研究会、加工システム研究開発機構が、それぞれ所管する事業を以下の通り実施した。

① 総合企画委員会

新規入会について審議し、その結果を理事会へ上程する旨決めたほか、2022年度会員懇談会（兵庫県・淡路島）並びに工作機械国際懇親パーティーの開催、更に、2023年日韓工作機械工業会協議会について企画・立案を行った。

② 技術委員会

研究開発部会、標準化部会が中心となり、「自動化生産システムに関する調査研究」、「三次元積層造形技術（Additive Manufacturing）に関する調査研究」、「工作機械業界の知的財産動向に関する調査研究」、「工作機械の試験・検査、安全、環境評価、ソフトウェアに関する国際標準化」への対応等、工作機械の技術振興に関する調査研究を幅広く実施した。

③ 経営委員会

経営調査部会、税制部会、労務研究部会が中心となり、①工作機械の各種調査指標について分析した「工作機械工業経営状況調査」、「工作機械工業収益状況集計」の作成・公表、

②2023（令和5）年度税制改正要望書（案）の取りまとめ、③労務環境については、「2022年度春季賃上げ/夏季・冬季一時金妥結状況調査」、改正高年齢者雇用安定法とコロナ禍の対応などについて情報収集を行った。

④ 市場調査委員会

政策部会、市場部会、サービス部会が中心となり、工作機械の需要動向に関する調査分析の他、政府予算措置等に関する要望のとりまとめ、「適正な下請取引の推進と取引先の生産性・付加価値向上を支援する自主行動計画」について年次フォローアップ調査を行った。市場関連では国内市場の動向や潜在需要等に関する調査、受注統計の運用等について検討した。サービス関連では営業及びサービス活動における安全対策、サービスエンジニア教育支援、更に、サービス技能検定について意見交換を行った。

⑤ 国際委員会

「中国における工作機械の需要産業」及び「世界のEV動向」をテーマに、専門家による講演主体の調査研究を実施したほか、サプライチェーン高度化（国際化へのサービス〔レジリエンス〕）に向けて、原産性調査業務を大きく低減させるデジタルツール「JAFTAS」の実証事業への参画、EPA利用に必要な業務を当業界向けに解説する「工作機械業界に特化したEPAマニュアル」を策定した。

⑥ 環境安全委員会

工作機械業界のカーボンニュートラル達成に向け、2030年省エネ目標についてCO2排出量を2013年比38%削減に改定した。また、「工作機械産業の環境自主行動計画」の目標達成に向けて、環境活動マニュアルの作成、環境活動状況問診票の内容見直し等取り組みを行った。更に、工作機械のLCA実施ガイドラインを策定し、その活用方法について全会員を対象に説明会を開催した。

⑦ 見本市委員会

JIMTOF・Tokyo 2022の盛会と円滑な運営を期して、諸準備に当たったほか、小間割の公表、出展実務者を対象とする説明会及び会場下見会の開催、搬入出日程の調整、会員による出展製品一覧の作成等を精力的に実施した。また、別途組織した企画部会では、会期中に実施する企画展示の魅せ方・演出について検討した。また、会期終了後、次回JIMTOF・Tokyo2024に向けた意見・改善事項を取りまとめた。

⑧ 輸出管理委員会

経済産業省と連携し、工作機械の適正な輸出管理を推進したほか、業界各社の輸出管理に対する支援業務を行った。また、工作機械輸出管理初学者対象の「工作機械の輸出管理講習会」、及び工作機械輸出管理実務者対象の「工作機械の輸出管理研修会」を開催、更に海外事業者対象の「JMTBA Seminar on Export Controls for Japanese Machine Tool」、をタイ・バンコク市においてオンライン併用で開催した。

⑨ 選考委員会

第63回理事会において設置された選考委員会は、次期役員候補及び会長候補について、検討した。その結果、次期会長候補として稲葉善治氏（ファナック(株)・取締役会長）が推薦され、次期役員候補の審議結果とともに、第64回理事会において報告・了承された。

⑩ 人材確保・周知研究会

次世代の工作機械産業を担う若く優秀な人材の確保・育成を目的とした産学連携による研究会を設置し、学生を対象とした「工作機械トップセミナー」の開催、企業の若手エンジニアを対象とした「工作機械基礎講座」の実施等について企画・立案し、実施した。

⑪ 加工システム研究開発機構

産学連携による「先端技術開発の強化」、「標準化の推進」、「国際技術交流の促進」を柱に、「工作精度試験方法通則の国際標準化」事業の実施、及び「若手研究者・技術者による国際交流プログラム」による訪問プログラムについて検討した。

(4) その他

① 委託事業

- (イ) JIS原案作成事業（(一財)日本規格協会）
- (ロ) 国際幹事等国際会議派遣事業（(株)三菱総合研究所）

② 補助事業

国際工作機械技術者会議の開催（(公財)JKA）

③ 国際交流

- (イ) SIMTOS 2022（2022年4月・韓国 ソウル市）
- (ロ) IMTS 2022（2022年9月・アメリカ シカゴ市）
- (ハ) JIMTOF 2022（2022年11月・日本 東京）
- (ニ) IMTEX 2023（2023年1月・インド バンガロール市）
- (ホ) TIMTOS 2023（2023年3月・台湾 台北市）

④ 広報活動

月例記者会見を実施したほか、下記出版物の発行、メールマガジンの配信等、広報活動に努めた。

- (イ) 機関誌「工作機械」
- (ロ) マシンツールワールド
- (ハ) 日本の工作機械産業（和・英）
- (ニ) 工作機械統計要覧
- (ホ) 第5回工作機械検定の実施
- (ヘ) その他出版物

⑤ 会員相互の親睦強化

主として下記行事を開催した。

(イ) 第61回野球大会 (2022年10月20日(木)、21日(金)・東京)

(ロ) 2023年新年賀詞交歓会 (2023年1月11日(水)・東京)

(ハ) 第14回会員交流会 (2023年3月2日(木)・栃木県宇都宮市)

(ニ) 日工会ゴルフ会

2022年5月14日(土)・愛知県/中京ゴルフ倶楽部 石野コース

〃 5月28日(土)・静岡県/ファイブハンドレットクラブ

〃 7月29日(金)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部

〃 10月1日(土)・愛知県/中京ゴルフ倶楽部 石野コース

〃 11月26日(土)・静岡県/ファイブハンドレットクラブ

2023年3月18日(土)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部

⑥ 税制・補助金に関する証明書発行業務

中小企業経営強化法の経営力向上設備及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行業務を行った。